

公益社団法人 日本経営工学会
第 35 期第 2 回理事会議事録

日 時：2019 年 9 月 7 日（土） 12:00～15:41

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス

出席者：（理事）松川弘明，藤野直明，中島健一，伊呂原隆，開沼泰隆，葛山康典，辛島光彦，志田敬介，西岡久充，皆川健多郎，森川克己，八木英一郎
（監事）大久保寛基，西口宏美

欠席者：（理事）小島貢利

議決事項

1. 入会の件

会員担当理事より，資料（YGE20190907-1）に基づき，正会員 7 名，学生会員 5 名の入会申請が報告され，全会一致で承認された。

2. 人材育成委員会委員委嘱の件

庶務担当理事（人材育成担当理事代理）より，資料（FJN20190907-2）に基づき，人材育成委員会委員，及び委員長案が提示され，全会一致で承認された。

3. その他

なし

協議事項

1. 事務局と学会運営の効率化について

松川会長より，資料（MKH20190907-1）に基づき，事務局と学会運営の効率化のため，会長，副会長（2名），庶務担当理事（2名），財務担当理事によるワーキンググループを設置することが提案され，全会一致で承認された。

2. 特別委員会設置について

松川会長と藤野副会長より，資料（FJN20190907-1）に基づき，産官学連携推進特別委員会の設置と委員会委員，及び委員長が提案され，全会一致で承認された。

3. 公益事業推進特別委員会の設置について

中島副会長より，資料（NSK20190907-1）に基づき，公益事業推進特別委員会の設置と委員会委員，及び委員長が提案され，全会一致で承認された。また，会長判断のもと，迅速な事業の推進を行うことが承認され，理事会において報告を行うこととなった。

4. 70 周年記念大会の開催について

大会担当理事と 70 周年記念行事担当理事より，資料（KSM20190907-1）に基づき，70 周年記念大会として 70 周年記念式典と 2020 年秋季大会を合同で開催することが提案され，全会一致で承認された。候補日として，2020 年 10 月～11 月の金～日の 3 日間で開催することも提案され，現在の候補日として，2020 年 10 月 2 日～10 月 4 日，10 月 23 日～10 月 25 日，11 月 13 日～11

月 15 日であることも確認された。

5. 70 周年記念事業計画について

70 周年記念行事担当理事より、資料 (NSK20190907-2) に基づき、70 周年記念事業として JIS (生産管理用語) 改訂に関する提案がなされ、分科会構成員から監事 2 名をはずすことを付加して、全会一致で承認された。JIS 原案作成委員と分科会構成員として、学术界だけでなく、技術士会や IE 協会などの産業界からの参画を求めているかなどの意見が出され、委員の追加も検討することが確認された。

また、70 周年記念行事担当理事より、資料 (NSK20190907-2) に基づき、70 周年記念事業として限定的に日本経営工学会特別功労賞を設ける案が提示された。現状の各賞との違い、表彰対象の想定や表彰基準について種々意見が出され、特別功労賞を設ける方向で 70 周年記念特別委員会と表彰委員会で協議のうえ、継続して審議することとなった。

6. EAWIE について

松川会長と国際渉外担当理事より、資料 (IRT20190907-1) に基づき、EAWIE (East Asia Workshop on Industrial Engineering) の概況説明や問題提起がなされ、今後の JIMA としての関わり方に関して意見聴取がなされた。種々出された意見を参考に、国際渉外委員会にて検討のうえ、次回以降の理事会にて提案を行うことが確認された。

7. 理事会でのグループウェア導入について

庶務担当理事より、資料 (NOH20190907-1) に基づき、理事会でのグループウェア導入についての提案がなされ、クラウド版のサイボウズ Office を 15 ライセンス (役員分) 導入することが全会一致で承認された。

8. 今後の理事会日程について

庶務担当理事より、資料 (NOH20190907-2) に基づき、予算案/事業計画案の策定スケジュールを鑑みて、2020 年 1 月に理事会を追加で開催する案が提示された。第 4 回理事会を 2020 年 1 月 11 日 (土) に開催し、予定されていた 2020 年 3 月 4 日 (水) の秋田での理事会を中止することが決定された。なお、2019 年 12 月 7 日 (土) の第 3 回理事会会場は早稲田大学とすること、今後の理事会開始時刻は基本的に 13 時からとすることも確認された。

9. 経営システム誌編集規則、編集委員会運営細則の改正について

経営システム誌編集担当理事より、資料 (NOH20190907-3) に基づき、経営システム誌編集規則、及び経営システム誌編集委員会運営細則の改正についての提案がなされ、経営システム誌編集規則については、全会一致で承認された。経営システム誌編集委員会運営細則については、第 2 条の「委員会規則に基づき」という文言を削除することを付加して、全会一致で承認された。

また、各所で「経営システム誌」という名称が使用されているが、本来の名称は「経営システム」ではないかとの意見が出され、今後『「経営システム」誌』とする方向で編集委員会にて検討することが確認された。さらに、ISSN を国立図書館から取得することも検討してはどうかとの意見が出された。

なお、今後の規程類の年表記については、和暦ではなく、西暦とすること (ただし、これまで

の和暦表記を西暦表記に変更することはしない)が確認された。

10. 技術士会からの「技術士を目指そう」説明会開催への協力依頼について

人材育成担当理事より、資料(FJN20190907-3)に基づき、日本技術士会経営工学部会から経営工学連携3団体連携事業として「技術士を目指そう」説明会の協力依頼があった旨の説明がなされ、これまでと同様にJIMAとして協力することが全会一致で承認された。

11. 台風15号の関東上陸に伴う対応案について

大会担当理事より、資料(KSM20190907-2)に基づき、台風15号の関東上陸に伴う2019年秋季大会の対応案が提示された。9月8日(日)午前10時の台風状況によって、予定通り開催するか、スケジュールを変更するか、9日(月)のみを中止にするかを大会担当理事に一任することが全会一致で承認された。決定次第を理事会MLに配信するとともに、9日(月)の事務局営業開始とともに、会員ML及び学会ホームページなどへ早急に連絡することが確認された。

報告事項

1. 会員の退会について

会員担当理事より、資料(YGE20190907-2)に基づき、退会についての報告がなされた。

2. 論文誌報告事項(エリアエディター、J-Stage投稿システム)について

論文誌編集担当理事より、資料(KAI20190907-1)に基づき、第35期エリアエディターの報告、J-Stage投稿システムの現状報告、及び論文誌編集委員会が担当するホームページの整理を行っている旨の報告がなされた。

3. 業務執行状況報告について

松川会長より、第35期第2回理事会の開催、副会長との70周年記念事業の打合せ、各部門に対する業務プロセスの確認と見直しの各理事への依頼と集約、事務局と学会運営の効率化についての提案、特別委員会設置やEAWIEについての各担当理事との共同提案、産学官連携のための関連機関との調整を始めている旨の報告がなされた。藤野副会長より、会長、副会長との70周年記念事業の打合せ、人材育成委員会委員の提案、特別委員会(産学官連携推進特別委員会)の設置を行った旨の報告がなされた。中島副会長より、会長、副会長との70周年記念事業の打合せ、70周年記念委員会の開催、公益事業推進特別委員会の設置、70周年記念委員会の大会委員会との共同提案、70周年記念事業の提案、JISの改定に関する規格協会との打ち合わせを行った旨の報告がなされた。

4. その他

財務担当理事より、最低賃金の改正に伴い、学生アルバイトの賃金を見直す必要があるのではないかとの問題提起があった。今後は最低賃金が最も高い都道府県を参考に、端数は十の位を切り上げて進めるのが良いのではとの意見が出され(例えば、2019年10月1日時点では1,100円)、審議の結果、全会一致で承認された。また、これに併せて規程類を見直すことが確認された。

※次回第35期第3回理事会は、2019年12月7日(土)に早稲田大学にて13時より開催する。

議 長 松川 弘明 印

議事録署名人 大久保 寛基 印

議事録署名人 西口 宏美 印